

# 環境活動レポート

2017年度

(対象期間:2017年4月~2018年3月)



発行日:2018年6月28日

改訂日:2018年8月10日

株式会社 エムテック

# 目次

1. ごあいさつ.....	2
2. 会社概要.....	2
3. 環境への取組み.....	3
3. 1 環境方針.....	3
3. 2 推進体制.....	4
3. 3 役割責任.....	4
4. 環境目標.....	5
4. 1 中期環境目標.....	5
4. 2 2017年度 環境目標.....	6
5. 環境活動の取組み内容.....	7
6. 環境活動の取組み結果.....	8
7. 環境法規等要求事項と順守状況.....	10
7. 1 該当する法令・条例一覧.....	10
7. 2 環境関連法規への違反、訴訟等の有無.....	11
8. 環境経営者による評価と見直し.....	12
9. 次年度（2018年度）の目標.....	13
お問い合わせ・地図.....	14

## 1. ごあいさつ

株式会社エムテックでは、品質管理のもと、製品の設計・加工・組立・設置までをトータルにサポートしております。

お客様のご要望やアイデアを具現化し、確かな技術とノウハウに加え、様々な手法を用いることで無駄を省くなど、効率化を図ったモノづくりを行っています。

全ては

「お客様の期待に応え、満足していただくためによりよいモノをご提供したい…。」

それが株式会社エムテックの理念です。



## 2. 会社概要

### (1) 事業者名

株式会社エムテック 代表取締役 島 俊博

### (2) 所在地

本社 〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師女夫越 3

六ツ師工場 〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師女夫越 3

牛流工場 〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄牛流 11



(第1工場)



(第2工場)

本社、六ツ師工場



牛流工場

### (3) 環境関係の担当者連絡先

環境管理責任者 工場長 田中 智

環境管理者 管理部 八重澤 浩

TEL 0568-25-8257 FAX 0568-22-8106

### (4) 企業の規模

従業員数：70人（2018年3月31日現在）

事業所延床面積：4,929㎡（本社、六ツ師工場 3,298㎡、牛流工場 1631㎡）

### (5) 事業内容 省力化機械設計製作、医療機器製造業

### (6) 認証範囲 本社、六ツ師工場、牛流工場

### 3. 環境への取組み

#### 3. 1 環境方針

## 環境方針

### 理念

株式会社エムテックは、省力化機械・織機機械・医療機器の設計・製作・組立から設置までを、徹底した品質管理のもとでトータルにサポートしております。お客様のご要望やアイデアを具現化し、確かな技術とノウハウに加え、様々な手法を用いることで無駄を省くなど、効率化を図ったモノづくりを行っています。全ては「お客様の期待に応え、満足していただくために、よりよいモノをご提供したい・・・。」

さらに、全ての活動を通じて自然との調和に努め、環境負荷の低減を図り、社会に貢献することを念頭に行動する。

### 方針

1. 環境保全活動を推進するため、エコアクション21ガイドライン（2009年版）にもとづき、これを運用・維持することを確実にします。
2. 環境に関する法律、条例、規制、協定、および当社が決めた外部からの要求事項を順守します。
3. 当社の企業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目標を定めて従業員全員で継続的な環境改善に取り組めます。
  - ① 製品の設計・製作・組立に使用する資源投入量の適正化を推進し、製品品質のみならず環境配慮製品の生産に努めます。
  - ② 事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出の削減に努めます。
  - ③ 事業活動に伴う水資源の使用量の節水に努めます。
  - ④ 製品・部品の製作加工油や潤滑油等の使用量の削減に努めます。
  - ⑤ 資源を有効に利用するため、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。
  - ⑥ 環境配慮物品を優先して調達し、グリーン購入の推進に努めます。
4. 全社員に対し、環境方針を周知徹底し、環境保全に対する意識向上を図ります。

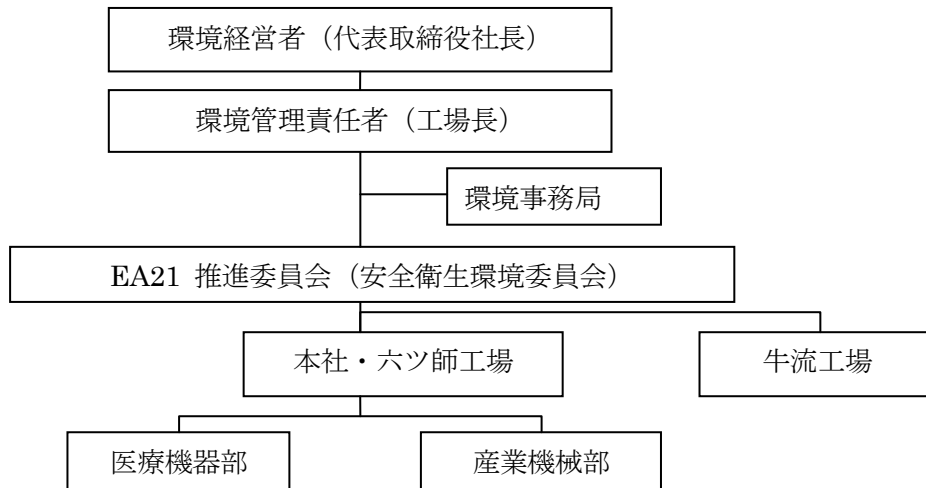
改訂 2016年 9月21日

株式会社エムテック

代表取締役社長

鳥 俊博

### 3. 2 推進体制



### 3. 3 役割責任

役職	役割・責任・権限
環境経営者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理システムに関する総責任者</li> <li>環境方針の策定</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>全体の取り組み状況の評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者 (工場長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動に必要な資源の確保</li> <li>環境目標の承認</li> <li>実施状況の確認</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標の作成</li> <li>環境活動の取組結果の実績集計</li> <li>環境活動レポートの作成</li> <li>外部からの苦情・要望受付窓口</li> </ul>
EA21 推進委員会 (安全衛生環境委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコアクション21活動の審議と推進</li> </ul>
各部門・全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加</li> </ul>

## 4. 環境目標

### 4. 1 中期環境目標(2016年～2019年)

環境方針	取組項目	中期の環境目標 (2016年～2019年)
製品の設計・製作・組立に使用する資源投入量の適正化を推進し、製品品質のみならず環境配慮製品の生産に努めます	省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数の増加	省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数を、2019年度まで毎年1件実施を目標とする。 (2015年度 15件 →2019年度 累計 19件 達成)
事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO <sub>2</sub> 排出の削減に努めます	売上高当たりの二酸化炭素排出量の削減 (kg・CO <sub>2</sub> /百万円)	売上高当り CO <sub>2</sub> 排出量を、2015年度を基準として、2019年度まで毎年 0.5% 削減する。 (2015年度 323kg・CO <sub>2</sub> →2019年度 316.5kg・CO <sub>2</sub> 達成)
事業活動に伴う水資源(上水)の使用量の節水に努めます	従業員1人当りの水の使用量の節水 (m <sup>3</sup> /人)	水を使用する部品加工研磨機や、生活用水の上水使用量を、2019年度まで2015年度の数値を維持する。 (上水使用量 1.6m <sup>3</sup> /人 維持)
製品・部品の製作加工油や潤滑油等の使用量の削減に努めます(産業機械部)	材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の取扱量の削減 (リットル/材料購入重量)	材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の取扱量を、2019年度までに毎年1%低減する。 (第1期実績平均 0.164リットル/材料購入重量 →2019年度 0.121リットル/材料購入重量)
資源を有効に利用するため、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。	廃棄物の再資源化率(リサイクル率) (%)	廃棄物の再資源化率(リサイクル率)を、2019年度までに70%にする。 (第1期実績平均 61.5% →2019年度 70% 達成)
環境配慮物品を優先して調達し、グリーン購入の推進に努めます	事務用品のグリーン購入率 (%)	事務用品のグリーン購入率を2019年度まで80%を維持する。 (第1期実績平均 68.1% →2019年度 80% 達成)
環境に関する法律、条例、規制、協定及び当社が決めた外部からの要求事項を順守します。	法令・協定等の順守 (問題件数)	法令順守のための自主的な管理を強化する。 (環境パトロール問題件数0件)

4. 2 2017年度 環境目標

中期の環境目標 (2016年～2019年)	2015年実績(基準) (2015年4月～ 2016年3月)	2017年目標 (2017年4月～ 2018年3月)
省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数を、2019年度まで毎年1件実施を目標とする。 (2015年度15件 →2019年度 累計19件 達成)	省力化産業機械 の開発・設計・ 試作・製作件数  15件/累計 (2015年実績)	省力化産業機械 の開発・設計・ 試作・製作件数 2015年度比 2件増加 (累計17件)
売上高当りCO2排出量を、2015年度を基準として、2019年度まで毎年0.5%削減する。 (2015年度323kg・CO2 →2019年度316.5kg・CO2 達成)	売上高当り CO2排出量 323kg・CO2 /百万円 (2015年実績)	売上高当り CO2排出量 2015年度比 1%増加 (319.8kg・CO2 /百万円)
水を使用する部品加工研磨機や、生活用水の上水使用量を、2019年度まで 2015年度の数値を維持する。 (上水使用量 1.6m3/人 維持)	上水使用量 1.6m3/人 (第1期実績平均)	上水使用量 2015年度数値 を維持 1.6m3/人
材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の 取扱量を、2019年度までに 毎年1%低減する。 (第1期実績平均0.164リットル/材料購入重量 →2019年度0.121リットル/材料購入重量)	加工油・潤滑油 等の取扱量 0.164リットル /材料購入重量 (第1期実績平均)	加工油・潤滑油 等の取扱量を 2015年度比 2%低減 (0.161リットル /材料購入重量)
廃棄物の再資源化率(リサイクル率)を、2019 年度までに70%にする。 (第1期実績平均61.5% →2019年度70% 達成)	リサイクル率 66.3% (第1期実績平均)	リサイクル率 68% 確保
事務用品のグリーン購入率を 2019年度まで80%を維持する。 (第1期実績平均68.1% →2019年度80% 達成)	グリーン購入率 68.1% (第1期実績平均)	消耗品の グリーン購入率 75% 確保
法令順守のための自主的な管理を強化する。 (環境パトロール問題件数0件)	問題件数 件数* *実績把握中	3ヶ月に1回のEA21推進委員 によるパトロールの実施 問題件数0件 (暫定的に設定)

## 5. 環境活動の取組み内容

### (1) 環境配慮製品の生産に努める

お客様の要望に応えるべく、生産性の向上に役立つ生産設備の機械製作において、徹底した品質管理の下に、環境に配慮した省力化機械の設計・製作に技術スタッフ、製造スタッフ共に、日々取り組んだ。

### (2) 省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出を削減に取り組んだ。

電力使用量の削減

- ① 昼食時・不使用時の消灯を徹底する。  
(照明器具ごとにスイッチ設置)
- ② 使用しないパソコン・プリンターの電源をOFFにする。
- ③ 夏期エアコンの温度を28℃に設定する。但し、客先からの指示がある場合は指示事項を優先し、環境に配慮した設定にする。
- ④ 冬期エアコンの温度を20℃に設定する。但し、客先からの指示がある場合は指示事項を優先し、環境に配慮した設定にする。
- ⑤ エアコンのフィルターの掃除を実施する。(5月、11月)



照明スイッチの消灯掲示



エアコンの設定温度表示



プリンタ電源OFF掲示

化石燃料使用量の削減

- ① 自動車のアイドリングストップを実施する。
- ② 自動車の急発進、急加速を行わない。
- ③ 自動車の空ぶかしを行わない。
- ④ 自動車のタイヤ空気圧を適正維持する。
- ⑤ 自動車に不要な荷物を積まない。
- ⑥ 自動車に積載オーバーしないこと。
- ⑦ 石油ストーブの使用を控える。



エコドライブの徹底の掲示&アイドリングストップの啓発

### (3) 水資源(上水)の使用節水

- ① 節水ポスターの掲示と呼びかけを実施する。
- ② トイレ用疑音装置の設置による節水の実施。



節水の掲示 (改善前)



節水の掲示 (改善後)



- (4) 製品・部品の製作加工油や潤滑油等の使用量の削減
- ① 加工方法を検討して、効率のよい加工を実施する。
  - ② 潤滑油については、機械不使用時は電源を OFF にする。
- (5) 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ① 分別場所の指定（ラベル表示）による分別の徹底
  - ② 廃棄物の分別と有価売却の推進



職場内から出る廃棄物の分別の徹底



リサイクルの促進

- (6) グリーン購入への取組み
- ① 事務用品中心にエコ商品のカタログを収集・整備
  - ② 各種紙、文房具、OA機器の新規購入には、エコマーク製品を原則として採用
- (7) 環境パトロールの実施
- 3か月に1回、環境パトロールを実施した。  
特に問題はありませんでした。
- (8) 掲示板の設置
- 掲示板を設置することにより、環境啓発活動を行う



掲示板の設置

- (9) 緊急事態への取り組み
- 避難訓練及び油漏洩訓練は 2017 年 10 月 17 日に実施した。  
計画通りにでき、手順書は改訂する必要はありませんでした。

## 6. 環境活動の取組み結果

中期目標の基準 2015年実績 (2015年4月 ～2016年3月)	2017年度 目標 (2017年4月～ 2018年3月)	2017年度 取組結果 (2017年4月～ 2018年3月)		評価	
省力化産業機械の開発・ 設計・試作・製作件数 15件/累計 (2015年実績)	省力化産業機械の開発・ 設計・試作・製作件数 2015年度比2件増加 (累計17件)	開発・設計・ 試作・製作件数 2件(累計17件)		○ 積極的に展開している。	
売上高当りCO2排出量 323kg・CO2/百万円 (2015年実績)	売上高当りCO2排出量 2015年度比1%低減 (319.8kg・CO2/百万円)	電力 435,657 kg・CO2/年間	合計 CO2排出量 329.3kg・ CO2/百万円 (449,887kg・ CO2/年間)	電力 前年度 より増	× CO2排出 量の目標 未達
		化石燃料 14,231 kg・CO2/年間		化石燃料 前年度 より減	
上水使用量1.6m3/人 (第1期実績平均)	上水使用量 2015年度数値を維持 1.6m3/人	節水ポスター掲示 2.2m3/人		× 使用量増加	
加工油・潤滑油等の取扱量 0.164リットル/材料購入重量 (第1期実績平均)	加工油・潤滑油等の取扱量 を2015年度比2%低減 (0.161リットル/材料購入重 量)	取扱量 0.077リットル/材料購入重量		○ 目標達成	
リサイクル率66.3% (第1期実績平均)	リサイクル率 68% 確保	61.6%		× 使用量増加	
グリーン購入率68.1% (第1期実績平均)	消耗品のグリーン購入率 75% 確保	86.4%		○ 目標達成	
法令・協定等の順守	EA21推進委員会の議題と して、法令順守の意識を強 化する。	3ヶ月に1回のEA21推進委員 による環境パトロールの実施 問題件数0件		○ 実施結果は良	

\*平成21年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数 (H22.12.27 官報) : 中部電力 0.474Kg・CO<sub>2</sub>/kWh

### 環境活動の取組結果

2016年の実績と今年度の実績を比較して、評価した。

- ① 省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数は、1件増加した。これは、お客様からの要望に応えた結果である。
- ② 売上高当りCO2排出量は、目標の321.4kg・CO2/百万円に対して、329.3kg・CO2/百万円と目標未達である。
- ③ 水の使用量は、目標の1.6m3/人に対して、2.2m3/人と増加した。この理由は、水道管破損による、水漏れが原因である。
- ④ 材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の取扱量は、目標の0.162リットルに対して、0.077リットルと目標を達成した。この理由は、加工油・潤滑油の使用量の削減に努めた結果である。
- ⑤ リサイクル率は、目標の67.0%に対して、61.6%と目標を下回った。これは最終処分(埋立)量が増加したことによるが、機械の保全のための油交換が重なったためである。
- ⑥ 事務用品のグリーン購入率は、目標の72.5%に対して、86.4%と目標を達成した。事務用品を中心にエコマーク製品の採用を積極的に展開した結果である。
- ⑦ 法令・協定等の順守については、環境パトロールを実施したが、問題件数0件で環境に関する違反、苦情、訴訟等の指摘は無く、法令順守違反等は発見されなかった。

## 7. 環境法規等要求事項と順守状況

### 7. 1 該当する法令・条例一覧

法規制等の名称	当社の順守項目	順守状況	
		本社・六ツ師工場	牛流工場
廃棄物の処理および清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理</li> <li>・産業廃棄物収集運搬、処分業者との委託契約</li> <li>・特別管理産業廃棄物の処理までの保管と、収集運搬、処分業者との委託契約</li> <li>・マニフェスト管理（A, B 2, D, E 票）</li> <li>・産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付等状況の報告</li> <li>・掲示板による必要事項の表示</li> <li>・処理委託業者の能力等の確認、適正処理の定期的な確認、不正処理確認時の届出</li> <li>・応急処置と事故時の報告</li> </ul>	適正処理・適正保管・マニフェスト管理他	
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水基準に適合しない排水を排出してはならない</li> <li>・排水水または特定地下浸透水の汚染状態を定期測定し記録を保管(3年間保管)</li> <li>・事故時の浸透防止応急措置、事故時の届出</li> </ul>	事故時の措置	
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守点検（1回/3ヶ月）及び清掃（1回/年）</li> <li>・水質検査の実施（1回/年）</li> <li>・浄化槽規模、設置場所、等の提出</li> </ul>	浄化槽 2 台	浄化槽 1 台
悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制地域での規制基準の順守</li> <li>・規制地域内に事業場を設置している者は、事故発生時、応急処置、復旧、通報</li> </ul>	臭気指数の規制	
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音発生施設の設置の届出</li> </ul>	コンプレッサ 4 台 プレス 3 台	コンプレッサ 1 台
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振動発生施設の設置の届出</li> </ul>	コンプレッサ 4 台 プレス 4 台	コンプレッサ 2 台
特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 種指定化学物質の取扱量等自主管理</li> <li>・SDS( Safety Data Sheet)の入手</li> </ul>	PRTR 該当物質の集計結果を確認 届出非該当	
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理者の選任・届出と、消防計画作成（工場 50 人以上 延べ 500m2 以上）</li> </ul>	防火管理者を選任、届け出済み	非該当
西春日井広域事務組合火災予防条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火対象物の使用開始届出（工場 50 人以上 延べ 500m2 以上）</li> <li>・火災の発生のおそれがある設備の届出</li> </ul>	電気炉 4 台 届け出済み	非該当
土壌汚染対策法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県知事からの命令による調査と報告</li> </ul>	自治体からの要請時協力	

法規制等の名称	当社の順守項目	順守状況	
		本社・六ツ師工場	牛流工場
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定製品の管理者は、使用フロン類の環境影響度の小さい指定製品の使用に努める</li> <li>・特定製品の管理者は、フロン類の管理の適正化と、自治体の施策へ協力しなければならない</li> <li>・年度内のフロン類算定漏えい量が、1,000CO<sub>2</sub>t/年以上の事業者は報告</li> <li>・充填回収業者に委託</li> </ul>	冷凍式ドライヤ搭載圧縮機 業務用エアコン他 業務用エアコン機器の簡易点検（3ヶ月に1回以上）を継続	
資源の有効な利用の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期使用と再生資源利用促進への協力（使用済 PC の自主回収・再資源化）</li> </ul>	パソコン他	
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期間使用による排出抑制、適切な引渡しと処理料金の支払い</li> </ul>	家電 4 品目	
使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努める</li> </ul> 北名古屋市は、2014年7月28日にリサイクルシステム構築実証事業地区に決定	小型電子機器 96品目 2015年5月1日から市役所西庁舎及び東庁舎で回収開始	
使用済自動車の再資源化等に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引取業者に使用済み自動車を引き渡さなければならない</li> <li>・再資源化等料金を再資源化預託金として預託しなければならない</li> </ul>	社有車	
取引先のグリーン調達ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの構築（ISO14001, エコアクション 21, エコステージ等）</li> <li>・工場で使用する原材料及び副資材の環境負荷物質管理（禁止物質含有の有無の把握体制の構築）</li> </ul>	エコアクション 21 運用 取引先からの要請時協力	

## 7. 2 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境管理連法規への順守状況について、確認・評価したところ、すべて適合しており、また、過去3年間に於ける環境に関する違反、苦情、訴訟等の指摘もありませんでした。

## 8. 環境経営者による評価と見直し

今年度はエコアクション 21 の活動期間を、2017 年 4 月～2018 年 3 月として活動し、その結果について、環境管理責任者より報告を受けた。

### 1. 省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数の増加

2017 年度の実績は 1 件となり、2015 年度比 2 件増加は達成した。

### 2. 売上高当たりの二酸化炭素排出量の削減

目標の 321.4 kg・CO<sub>2</sub>/百万円に対して、329.3 kg・CO<sub>2</sub>/百万円となり、目標未達であった。省エネ・省資源活動を推進していく。

### 3. 従業員 1 人当りの水の使用量の節水

目標の 1.6 m<sup>3</sup>/人に対して、2.2 m<sup>3</sup>/人となり、目標未達であった。水道管破損による水漏れにより、水道管補修工事を行った。引き続き、節水ポスターの掲示等で活動を強化していく。

### 4. 材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の取扱量の削減

目標の 0.162 リットル/材料購入重量 に対して、0.077 リットル/材料購入重量となり、目標を達成した。加工油・潤滑油の使用量の削減に努めた結果が出ている。

### 5. 廃棄物の再資源化率(リサイクル率)

リサイクル率の目標 67.0 %確保 に対して、61.6 %となり、目標未達であった。機械の保全のタイミングが重なり、廃油が増えたとのことであるが、今後も廃棄物の分別を徹底しリサイクルの推進に努める。

### 6. 事務用品のグリーン購入率

目標の 72.5 %確保 に対して、86.4 %となり、目標を達成した。消耗品はエコ商品を使用する意識が定着していると感じている。

### 7. 環境パトロールの実施

問題件数 0 件で特に問題はなく、今後も法令順守の意識づけに努める。

全般的に、3 件の未達成があったが良い結果も出ている。今後も環境活動を継続していくことを全社員に意識づけ、目標が達成できるようにと指示した。次年度について、無理なく環境負荷の低減に取り組める目標を掲げるように指示した。

また、環境法規に関しては、最新の情報が入手出来る体制をとり、順守することの指示をした。

## 9. 次年度（2018年度）の目標と取組み

中期の環境目標（2016年～2019年）	基準	2018年度目標 （2018年4月～ 2019年3月）
省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数を、2019年度まで毎年1件実施を目標とする。 （2015年度15件 →2019年度累計19件達成）	省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数 15件／累計 （2015年度実績）	省力化産業機械の開発・設計・試作・製作件数 2015年度比3件増加 （累計18件）
売上高当りCO2排出量を、2015年度を基準として、2019年度まで毎年0.5%削減する。 （2015年度323kg・CO2 →2019年度316.5kg・CO2達成）	売上高当りCO2排出量 323kg・CO2／百万円 （2015年度実績）	売上高当りCO2排出量 2015年度比1.5%低減 （318.2kg・CO2／百万円）
水を使用する部品加工研磨機や、生活用水の上水使用量を、2019年度まで2015年度の数値を維持する。 （上水使用量1.6m3／人維持）	上水使用量 1.6m3／人 （第1期実績平均）	上水使用量 2015年度数値を維持 1.6m3／人
材料購入重量当りの加工油・潤滑油等の取扱量を、2019年度までに毎年1%低減する。 （第1期実績平均0.164リットル／材料購入重量 →2019年度0.121リットル／材料購入重量）	加工油・潤滑油等の取扱量 0.164リットル／材料購入重量 （第1期実績平均）	加工油・潤滑油等の取扱量を 2015年度比3%低減 （0.159リットル／材料購入重量）
廃棄物の再資源化率（リサイクル率）を、2019年度までに70%にする。 （第1期実績平均61.5% →2019年度70%達成）	リサイクル率 66.3% （第1期実績平均）	リサイクル率 69%確保
事務用品のグリーン購入率を2019年度までに80%にする。 （第1期実績平均68.1% →2019年度80%達成）	事務用品のグリーン購入率 68.1% （第1期実績平均）	消耗品のグリーン購入率 77.5%確保
法令順守のための自主的な管理を強化する。 （環境パトロール問題件数0件）	問題件数 件数* *実績把握中	3ヶ月に1回のEA21推進委員による環境パトロールの実施 問題件数0件 （暫定的に設置）

### 2018年度の取組み

- （1）環境配慮製品の生産に努める。
- （2）省エネルギーを推進し、CO2排出の削減に取り組む。  
第二工場コンプレッサ（1F）区域を区切り冷却する、3Fフロアの使用頻度を減らす。
- （3）水資源（上水）の使用節水に取り組む。
- （4）製品・部品の製作加工油や潤滑油等の使用量の削減に取り組む。  
効率の良い加工方法の検討、実施
- （5）廃棄物の削減とリサイクルの推進に取り組む。  
分別の徹底と有価売却の推進
- （6）グリーン購入の推進へ取り組む。  
非エコマーク製品の分析をし、エコマーク製品の採用を推進
- （7）掲示板での啓発活動を行う。
- （8）環境活動レポートの実施

## お問い合わせ・地図



# 株式会社 エムテック

HP アドレス <http://www.m-tec-m.co.jp>

### [本社]

〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師女夫越3番地

TEL : 0568-25-8257

FAX : 0568-22-8106

### [六ツ師工場]

〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師女夫越3番地

#### <医療機器部>

-第二工場1F-

TEL&FAX : 0568-25-3126

-第二工場2・3F-

TEL&FAX : 0568-25-2874

#### <産業機械部>

TEL&FAX : 0568-68-6955

#### <技術部>

TEL&FAX : 0568-25-0680

### [牛流工場]

〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄牛流11番地

#### <産業機械部>

TEL : 0568-24-6600

FAX : 0568-24-6644

環境管理責任者 田中 智 E-mail [tanaka@m-tec-m.co.jp](mailto:tanaka@m-tec-m.co.jp)

環境管理者 八重澤 浩 E-mail [h.yaezawa@m-tec-m.co.jp](mailto:h.yaezawa@m-tec-m.co.jp)